



平成11年度 卒業生および卒業論文題目 (人間科学コース・人間関係コース)

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2011-09-12 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10466/11805">http://hdl.handle.net/10466/11805</a>

## 平成 11 年度卒業生および卒業論文題目

(人間科学コース・人間関係コース)

- 赤井 浩輔 女性の社会進出と男性の家庭進出
- 井上健太郎 現代社会における人間関係について
- 上村 昌代 キェルケゴールの『不安の概念』における不安の概念と、カミユの『異邦人』にみられる不条理の概念の比較
- 宇尾野宏之 後漢宦官の権力接近とその行使—及び生態について
- 浦田 賢治 STS教材の良し悪しは意思決定能力の開発と関係があるか
- 大村 絵美 自己抑制の性質
- 岡田 典子 インターネットで広がる人的ネットワークについての一考察—出会い—
- 甲斐 亮子 町並み保存の歴史—広島県尾道市の事例—
- 加納 直美 日本人の死生観と脳死・臓器移植問題
- 川崎 智永 2次元絵画における奥行き知覚について
- 北川 順彦 日本人の精神構造に残存する儒教
- 木下 和美 都市空間における水デザインの考察—大阪を事例として—
- 久代 泰子 平安末・鎌倉初期における撰閲家の動向—九条兼実を中心に—
- 黒木 一雄 説明文の理解と記憶における感情的興味の役割
- 塩田 朝子 「琳派」の定義に対する考察
- 周 雷 日本における外国人労働者問題—人権侵害の実態—
- 新谷 夏子 急増するアジアからの訪日旅行者
- 末永 彩子 ニューヨーク派における大画面性について
- 鈴木佐江子 ドストエフスキー『白痴』に見る、人間による神の愛の形の実践とその問題点—ニーグレンの著書『アガペーとエロース』を手掛かりに—

- 須藤真夢子 誤った情報が人の記憶に及ぼす影響について  
—誤誘導操作を用いて—
- 玉井 景子 IWMによる愛着世代間伝達と対人愛着について
- 辻井 悠介 ナチスの大学政策とドイツの大学
- 戸田 亮一 消費者金融の歴史と現状
- 長尾 典彦 「おかげまいり」と「ええじゃないか」から学び得る現代社会の像
- 中野 真季 符号化から考える指示忘却
- 中村 泰子 魅力あるまちをめざして—大阪ミナミ、アメリカ村における住民と商店の取り組み
- 任 美香 容貌と性格特性・印象、行動の関連  
—容貌から形成される性格特性や印象による行動の選択の違い—
- 能井 聡子 日本における安楽死とその選択の可能性  
—日本とオランダの事例をめぐって—
- 橋本 幸子 生活の中における文化交流—関西在住スリランカ人と周辺の日本人を事例として
- 平島佳世子 少年犯罪の被害者と少年法
- 福島 信之 課題達成集団における課題行動の機能
- 藤永 礼 環境問題がもつ可能性—「土地倫理」を通して
- 藤原 美和 生活リズムの変化と抑うつ傾向について
- 堀田恵梨子 住宅室内の雰囲気とその配色—トーン型配色の検討—
- 正井三帆子 理想と現実自己のズレと自己受容との関係について  
—青年期を対象として—
- 的場 優子 鍋島の文様
- 鞠山恒太郎 庚申講  
—伝統文化の継承—

南 佐也加 日本における外国人の観光について  
—大阪市を例に—

屋代 菜海 共存と生の欲求

安本 有紀 ラップミュージックの白人社会への浸透

山本 裕也 企業との関わりから見る日本のテレビアニメーション

六井 雄輝 老子と孔子

青野 純也 ベンチャーファイナンスの現状と未来

合田 英高 宗教と癒し

山内 芳宣 他者を道徳的に裁くことにおける負の可能性について

(以上、人間科学コース)

福岡 正洋 自分らしく生きるということ  
—真の個性のあり方を考える—

(以上、人間関係コース)